

第162回 全学情報リテラシ科目の演習型学習を 支援するティーチングアシスタント研修

- TA＝ティーチングアシスタント
- 背景 (全学情報リテラシ科目、関係者の人数、これまでの研修、学内で配布されているTA研修資料、ほとんどのTAは・・・)
- 科目に求められるTA像の検討
- 新たな研修コース (TAの基本、これまでの研修、オンラインでコミュニケーションをとることができる、理想のTA像を知る、理想のTA像に近づくために何をするか)
- 感想や課題

ティーチングアシスタント

- 文部科学省Webページより

The screenshot shows the official website of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) of Japan. At the top, there is a navigation bar with 'サイトマップ' (Site Map) and 'English'. The main header features the MEXT logo and name in both Japanese and English. Below the header is a search bar with a '検索' (Search) button and a '詳細検索' (Advanced Search) link. A horizontal menu contains various categories, with '教育' (Education) highlighted in green. The main content area is titled 'ティーチング・アシスタント (TA) について' (About Teaching Assistants (TA)). Underneath, there is a section for '概要' (Overview) which describes the TA program: it is a system aimed at improving the treatment of university students by providing them with teaching assistant opportunities, including tutoring, experiments, and seminars, and providing them with training opportunities and financial support.

- TAの業務として、成績評価業務はNG

熊本大学の全学情報リテラシ科目

- 情報を使いこなす能力を育成する科目
 - 8つの能力: 基本操作スキル、コミュニケーション能力、情報獲得、情報発信、プレゼンテーション、基本原理の理解、モラル・法、危機管理
- 前期＝情報基礎A(情報収集)、後期＝情報基礎B(情報発信)
- 学部1年生全員が受講する(必修科目)
 - 受講者約1800名、26クラス
- 教員13名、TA: のべ73名(2013年度前期: 37名採用)



これまでの研修

- 情報基礎の業務とその流れを解説したページ
 - [Moodleのコース](#)として作成
- 理解できたかを測る
 - 小テスト「情報基礎TA業務に関する確認」
 - PASSの条件:・・・

1 TA勤務に関する確認



「TA業務の流れ」を確認してください。特に、文書「TAの業務についての注意です」は必ず目を通してください。以上のことを理解できた方から下記の「情報基礎 TA業務に関する確認」を実施してください。必ず**4月13日17時までに**オンラインで提出してください。（提出されない場合、TA勤務ができなくなることがあります。）

TAの業務についての注意です

情報基礎 TA業務に関する確認

TA業務の流れ

1. 出勤日の確認と講義の予習（下記参照のこと）
2. 出勤し、**出勤カードの提出**（下記参照のこと）
3. **講義での学習支援**
4. 講義後、出勤届けの**捺印**
5. 講義後、**業務実施報告書**の実施（下記参照のこと）
6. 次回、出勤日の確認

講義の予習について

2009年度の情報基礎AのテキストがPDFにして下記「2009年度情報基礎Aテキスト」に準備されています。このPDFを使って予習してください。

（！！！！注意！！！！）

2011年度よりPCのOSがWindows7となり、その操作性が異なります。各自で必ず動作を確認してください。ご質問などありましたら、遠慮なくお知らせください。

2009年度情報基礎Aテキスト

TA業務ノウハウ

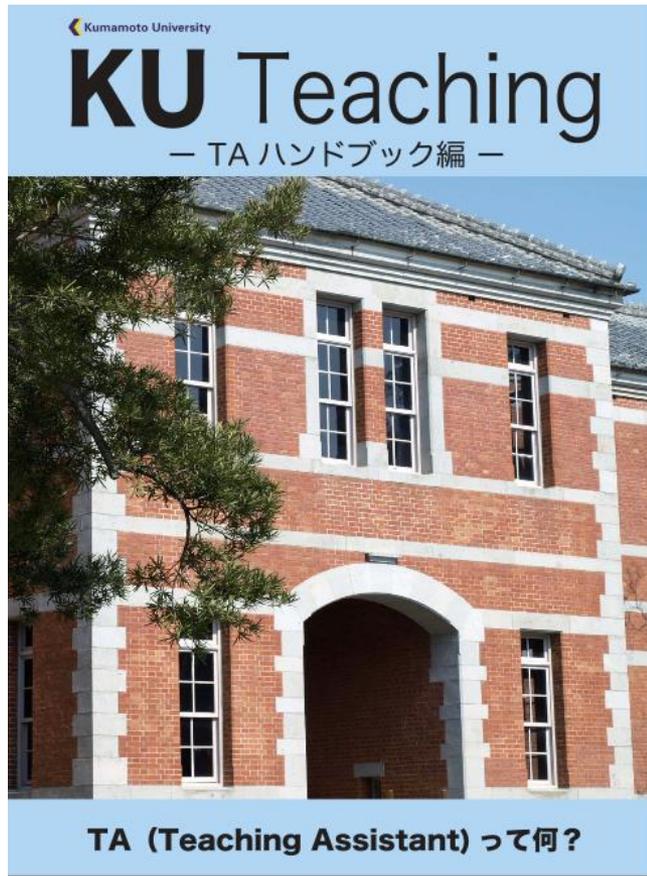
TA業務の流れを理解したか確認する確認テスト

TA業務の流れを示す

細かな説明

細かな説明

TA研修資料



•Kumamoto University Teaching Online
= KU:TO

ほとんどのTAは・・・

- 修士課程の学生を対象に教員が募集をかける
- 一般的には、研究室に所属する学生をTAに勧誘する
 - 教員の専門の講義をサポート / TAの知識を把握している
 - すでにコミュニケーションが取れている
- 情報基礎は・・・
 - のべ73名も研究室で調達できない
 - 修士課程全員に向け募集をかける(TAの知識は皆無)
 - #他の科目の募集スケジュールと合わない
 - 教員とTAと面識がない(第1回講義が初対面)
 - コミュニケーションをとるところから必要



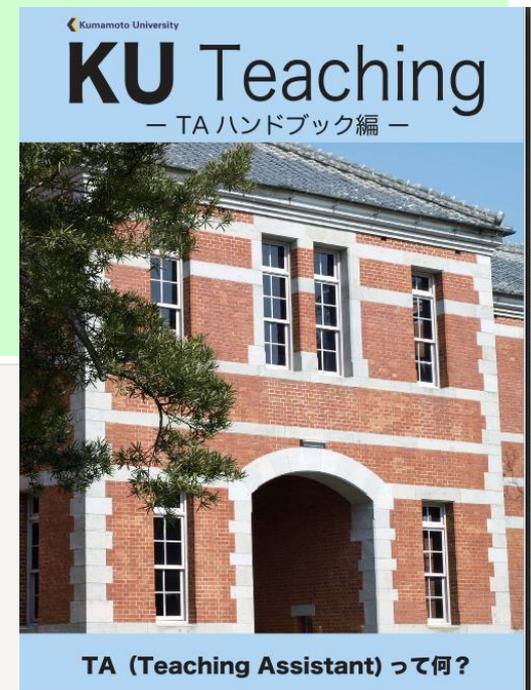
求められるTA像の検討

- これまでの問題点
 - 教員とTA、TAとTAのコミュニケーション不足
 - 教員は知っているがTAは知らないトラブル処理がある
 - あるTAは知っているが、あるTAは知らないトラブル処理がある
 - TAは教育職員でもあるという意識の不足
 - 遅刻する
 - チャイムが鳴ったら帰る
 - 積極的に学びの場として利用していない



TAの基本

- TAの基本は「KU Teaching - TA ハンドブック編 -」
TAは教員でもあり学生でもある
- 理解できたかを測る
 - 小テスト「理解度テスト-TAの基本」
 - PASSの条件：10点/10点満点



TAって何？

ここではTA(=Teaching Assistant)の基本的な事項について理解しましょう。総合情報基盤センター2階事務室にて配布するテキスト「KU Teaching - TA ハンドブック編 -」をよく読み次の理解度テストを合格してください。テキストを見ながら受験しても構いませんが、最終的にはテキストなしでも合格できるよう理解を深めてください。

タスク：TAの基本を理解する

タスクPASSの条件：

1. 「理解度テスト-TAの基本」が10点

理解度テスト-TAの基本



これまでの研修

- 情報基礎の業務とその流れを解説したページ
- 理解できたかを測る
 - 小テスト「情報基礎TA業務に関する確認」
 - PASSの条件: 10点/10点満点

情報基礎Aの業務について

下記コースにて情報基礎Aの業務について理解しましょう。理解できたか理解度テスト「情報基礎TA業務に関する確認」を実施してください。必ず4月14日(日) 17時までにオンラインで提出してください。(提出されない場合、TA勤務ができなくなることがあります。)

タスク：情報基礎Aの業務を理解する

タスクPASSの条件：

1. 「情報基礎TA業務に関する確認」が10点

 2013年度情報基礎AのTA

情報基礎TA業務に関する確認



オンラインでコミュニケーションをとる

- 学習支援のためには、**教員とTA、TAとTAのコミュニケーション**が重要
- コミュニケーションをとることを経験する
→オンライン掲示板を利用した自己紹介と返信投稿

自己紹介

情報基礎では、例年約30名のTAを雇用し、運用をサポートしていただいています。そのサポート活動はときにグループとして活動してもらうこともあります。また、雇用人数が多いことから相互交代による勤務を可能としており、日頃会わないTAの方とコミュニケーションをとって勤務することも少なくありません。

グループでのサポート活動や他のTAとの連携を円滑に進めるためには、コミュニケーションをとることが大切です。まずは、自己紹介をしてもらいます。手短かに下記掲示板に自己紹介文を投稿してください。ただし、自己紹介には次の項目を含めてください。

- 氏名
- 所属
- 情報基礎AおよびBで活かせる自分の得意なこと
- 仲間TAへのあいさつ

タスク：自己紹介を投稿する

タスクPASSの条件：

1. 必要項目を含む自己紹介を投稿する
2. 他者の投稿を読み、必要項目が含まれているか確認し、「仲間TAへのあいさつ」に返信する

 自己紹介を投稿しよう



理想のTA像を知る

• 基本的な職業能力の提示

- 実は、提示する職業能力は、TA業務として適切と考えられる行動を抽象化した概念（具体的な行動ではない）
 - 上司へ報告できる
 - 情報共有できる
 - 相談できる
 - 情報発信できる
 - 自己管理できる
 - 学習者に合わせてサポートできる

• 学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」

- 職業能力を使い、具体的にどのような場面でどのような行動をとるか考える選択形式の学習教材
- Moodleのレッスン機能を利用



学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」

あなたは情報基礎TAとして働くことになりました。TAは学習者のために学習環境を整えることが求められます。情報基礎ではパソコンを利用した演習がメインなので、パソコン操作を学ばせることはもちろん、著作権や個人情報保護といった情報の扱いについて学習する生徒さんをサポートしなければなりません。明日が第1回目の講義なのですが・・・

- 遅刻しないように寝る
- 第1回講義の予習をする

送信



学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」

あなたは情報基礎TAとして働くことになりました。TAは学習者のために学習環境を整えることが求められます。情報基礎ではパソコンを利用した演習がメインなので、パソコン操作を学ばせることはもちろん、著作権や個人情報保護といった情報の扱いについて学習する生徒さんをサポートしなければなりません。明日が第1回目の講義なのですが・・・

あなたの答え：第1回講義の予習をする
そうですね。予習することで学習者の疑問に答える環境を提供できるようになりますね。

続ける



学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」

あなたは情報基礎TAとして働くことになりました。TAは学習者のために学習環境を整えることが求められます。情報基礎ではパソコンを利用した演習がメインなので、パソコン操作を学ばせることはもちろん、著作権や個人情報保護といった情報の扱いについて学習する生徒さんをサポートしなければなりません。明日が第1回目の講義なのですが・・・

あなたの答え：遅刻しないように寝る
寝る前にもうひとがんばり、講義の予習をしておきましょう。予習することで学習者の疑問に答える環境を提供できるようになりますね。

続ける



学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」

(次の日)

今日、あなたが勤務する講義は2限目で、教室はA407教室です。いまちょうど10時です。あなたは・・・

- 10時30分に間に合うように出発すればいいな。
- ここから教室まで途中道路を渡ることを考えると最悪約15分かかるので、10時5分くらいに出ればいいな。
- ここから教室まで途中道路を渡ることを考えると最悪約15分かかるので、10時15分くらいに出ればいいな。
- いまから出よう。

送信

[戻る](#)



理想のTA像に近づくために何をするか

- ゴールステートメント

- 職業能力を身につけるために、TAとしてとるべき行動を具体的に考え、TA業務の目標を設定する

コースではこんな感じ



コースではこんな感じ

基本的な職業能力について

学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」を利用して、基本的な職業能力について理解しましょう。職業能力について理解できた人は情報基礎TAが終わった後の自分像について考えてみましょう。（「ゴールステートメント」をクリック）

基本的な職業能力：

- 行った業務内容について上司へ状況報告を行う事ができる
- 情報共有すべき内容と判断される場合に、上司および同僚へ正確に連絡できる
- 自分で対応できる案件が精査し、必要なときに業務について上司に相談できる
- 行った業務内容についてメモをとることができ、同じ職掌の同僚に向け情報発信できる
- 業務の事前準備（予習や受講者を迎え入れる体制）、業務、業務報告を自分で適切に管理し遂行できる
- 学習者が学ぶべき事を学習者本人が学ぶように仕向けることができる

タスクPASSの条件：

1. 「情報基礎TAを体験する」が100点
2. 「ゴールステートメント」を提出する

 情報基礎TAを体験する

 情報基礎TAが終わった後の自分像（ゴールステートメント）



感想

• TAの感想

- 講義演習の一部を研修として行うとすぐに業務で活かせてよいのではないか
 - ◀ 今回の研修内容が一般的な仕事の進め方などの新入社員研修のようになった。TA採用者の知識を一定以上とするような仕組みも必要。直近で業務に役に立つという意味では動機づけも楽？
- 教員という立場を考える良い機会になった
- 教えるということを考える機会となった。「教えてはいけない」は驚いた。
 - ◀ 「PC操作を学ぶ演習なので、TAが操作してはいけない。」という内容を学習教材で学ぶ。さらに「テキストを読んで学習する能力を高めるためにも、テキストに記述されていることを教えてはいけない。」など追加してはどうか。



取り組むべき課題

- 積極的に学びの場として利用する仕掛け
 - 理解したことを使う/試す/応用する
- 研修の評価
- TA業務を通じた学びの証拠作りができないか
 - ポートフォリオ
- 学習コンテンツ「情報基礎TAを体験する」のGBS化

